

鹿島市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況  
(平成29年度分)に係る点検・評価について

平成30年度 第1回鹿島市子ども・子育て会議  
(平成30年12月17日)

# 1. 教育・保育施設の提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の考え方

教育・保育施設の提供体制	認定こども園・幼稚園・保育所及び地域型保育事業所が設定している利用定員の総数とします。
1号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 保育必要（3～5歳児）	認定こども園、保育所の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（1～2歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（0歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。

地域子ども・子育て支援事業の提供体制	地域子ども・子育て支援事業（13事業）の確保方策については下記のとおり整理します。
1 利用者支援事業	実施施設における利用者支援専門員の配置数とします。
2 地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターへ来客された人数に対して、対応できた人数とします。
3 妊婦健康診査	健診勧奨を行った結果、それを処理した人数とします。
4 乳児家庭全戸訪問事業	全乳児家庭に対する訪問件数とします。
5 養育支援訪問事業	養育が必要な家庭に対する訪問件数とします。
6 子育て短期支援事業	利用申込みに対する対応可能数とします。
7 子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター)	事業の進捗状況を報告します。
8 一時預かり事業	事業を行う施設での利用実績とします。
9 延長保育事業	事業を行う施設での利用実績とします。
10 病児・病後児保育事業	市外施設での利用実績及び事業の進捗状況を報告します。
11 放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	各クラブの定員数です。
12 実費徴収に係る補足給付を行う事業	※事業の実施はありません。
13 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	※事業の実施はありません。

○用語解説

No.	用語	説明
1	1号認定児童	教育標準時間認定。満3歳以上の小学校就学前子どもであって、学校教育のみを受ける子ども
2	2号認定児童	保育認定。満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要とする子ども
3	3号認定児童	保育認定。満3歳未満の保育を必要とする子ども
4	特定教育・保育施設	幼稚園、保育所、認定こども園
5	特定地域型保育事業	少人数の子どもを預かる事業 小規模保育事業（定員6～19人）やベビーシッターなど ※鹿島市にはありません。
6	量の見込み	事業の利用希望者数など
7	確保方策	利用希望に対する受入体制（定員など）の確保の内容および実施時期。目標値。

○4ページ目以降の表の見方

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

支援人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	利用者数見込み（計画策定時）				
	実績 (B)	各年度末時点の利用者数 (H30年度は10月末現在)				
確保方策	計画 (C)	利用希望に対する定員などの 確保の対応策（計画策定時）				
	実績 (D)	確保状況の実績数				
進捗率	(D) / (C)	確保量の進捗率 (100%を超えていたら達成していることを示す)				
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	実際の利用者数と定員との差 (マイナスは定員を超えて提供していることを示す)				

## 2. 平成29年度 事業実施状況 点検・評価

### 【概略】

#### (1) 教育・保育施設の提供体制・・・P.4～8

- ・幼稚園1施設、保育所14施設、認定こども園1施設において提供を行っています。
- ・4月1日時点および10月1日時点において、待機児童はありませんでした。
- ・0～2歳児は定員を超えて利用をされていますが、施設全体の定員に応じて、弾力的に受入を行っています。

#### (2) 地域子ども・子育て支援事業の提供体制

##### ①利用者支援事業・・・P.9

- ・計画策定時には新規事業であったため、目標値はありませんでした。
- ・子育て支援センターに専門員1名を設置し、利用者ニーズに対応した情報提供や助言を行っています。相談対応は月平均で30件行っています。

##### ⑤養育支援訪問事業・・・P.13

- ・市保健師と県助産師会の助産師に委託し、育児不安のある産婦や養育支援の必要な家庭へ訪問し、安心して子育てができるよう支援を行っています。
- ・来年度から子育て総合相談センター（子育て世代包括支援センター）を設置し、切れ目のない支援ができるよう努めていきます。

##### ⑦ファミリー・サポート・センター・・・P.15

- ・H29年度より事業を開始し、子どもの預かり等の援助を受けたい会員と、援助を行いたい会員とのマッチングを調整しています。
- ・現状、事業の周知が十分とは言えないため、更なる広報、意見収集を行い、利用しやすい事業となるよう努めます。

##### ⑩病児・病後児保育事業・・・P.19

- ・嬉野市および江北町に加え、H30年度より武雄市にある病児受入施設へ委託を開始しました。

##### ⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）・・・P.20～28

- ・明倫小学校：利用希望者数が定員を超えていますので、確保方策を検討しています。
- ・古枝小学校：H29年度に専用施設を新設しました。
- ・北鹿島小学校：H30年度より新たに1クラブ開設しました。

【教育・保育施設の提供体制】

(1) 1号認定 【3～5歳教育標準時間認定：認定こども園・幼稚園】

〈事業の概要〉

3～5歳で保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分です。  
対象施設は認定こども園・幼稚園となります。

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

1号認定 (3～5歳教育希望)		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	39	38	37	105	105	
	実績 (B)	45	52	48	105	—	
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	40	38	39	105	105
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		40	38	39	105	105
	特定教育・保育施設	実績 (D)	45	45	45	105	—
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		45	45	45	105	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	5	7	6	0	—
進捗率	(D)／(C)	113%	118%	115%	100%	—	
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	0	-7	-3	0	—	

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

※ H29年度に計画を見直し、2号認定（教育）を1号認定（教育）と統合しました。

〈実施状況〉

1号認定を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と今年度から子ども子育て支援新制度へ移行した幼稚園1施設となります。市内認定こども園及び幼稚園において、教育施設を希望する需要は満たしていますので、今後も2施設を重点に需要に対応します。

〈今後〉

現在の施設利用定員数で量の見込みを確保できている状況です。

(2) 2号認定（教育必要）

【3～5歳保育認定：認定こども園・幼稚園】

〈事業の概要〉

3～5歳で保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分です。  
施設での教育及び教育後の預かり保育が希望です。  
対象施設は認定こども園・幼稚園となります。

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

2号認定（3～5歳教育希望）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	54	64	61	0	0	
	実績 (B)	60	52	44	0	—	
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	60	62	61	0	0
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		60	62	61	0	0
	特定教育・保育施設	実績 (D)	60	60	60	0	—
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		60	60	60	0	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	0	-2	-1	0	—
進捗率	(D)／(C)	100%	97%	98%	0%	—	
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	0	8	16	0	—	

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

※ H29年度に計画を見直し、2号認定（教育）を1号認定（教育）と統合しました。

〈実施状況〉

〈今後〉

### (3) 2号認定（保育必要）

#### 【3～5歳保育認定：認定こども園・保育所】

##### 〈事業の概要〉

3～5歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所となります。

##### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

2号認定（3～5歳保育希望）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	719	712	702	688	675	
	実績 (B)	683	701	688	682	—	
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	673	673	702	702	702
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		673	673	702	702	702
	特定教育・保育施設	実績 (D)	694	696	718	700	—
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		694	696	718	700	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	21	23	16	-2	—
進捗率	(D)／(C)	103%	103%	102%	100%	—	
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	11	-5	30	18	—	

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

##### 〈実施状況〉

2号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。  
市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込みを上回り確保できている状況です。  
今後も利用者の保育ニーズに応えられるよう努めていきます。

##### 〈今後〉

現在の施設利用定員数で量の見込みを確保できている状況です。  
今後の計画では量の見込みが減少することが考えられます。

#### (4) 3号認定（保育必要）

【1～2歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

##### 〈事業の概要〉

1～2歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

##### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

3号認定（1～2歳保育希望）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	454	442	436	426	417	
	実績 (B)	391	380	387	384	—	
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	438	438	428	428	428
	特定地域型保育事業		2	2	8	8	8
	計		440	440	436	436	436
	特定教育・保育施設	実績 (D)	375	377	395	377	—
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		375	377	395	377	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	-65	-63	-41	-59	—
進捗率	(D)／(C)	85%	86%	91%	86%	—	
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	-16	-3	8	-7	—	

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

##### 〈実施状況〉

3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。

市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込を確保できておらず確保方策の進捗率も86%になっています。

ただし、実際の施設の運営状況では384人の利用状況となっており、施設全体の利用定員に依りて弾力的に児童を受け入れることで待機児童対策を行っています。

##### 〈今後〉

既存施設の定員見直しにより確保対策を行いたいと思います。

(5) 3号認定（保育必要）

【0歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

〈事業の概要〉

0歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

3号認定（0歳保育希望）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	203	198	192	190	185	
	実績 (B)	154	152	146	113	—	
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	200	200	190	190	190
	特定地域型保育事業		1	1	5	5	5
	計		201	201	195	195	195
	特定教育・保育施設	実績 (D)	61	63	63	64	—
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	計		61	63	63	64	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	-140	-138	-132	-131	—
進捗率	(D)／(C)	30%	31%	32%	33%	—	
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	-93	-89	-83	-49	—	

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

〈実施状況〉

3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園1施設と保育所14施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。

市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込を確保できておらず確保方策の進捗率も33%になっています。

ただし、実際の施設の運営状況では113人の利用状況となっており、施設全体の利用定員に依りて弾力的に児童を受け入れることで待機児童対策を行っています。

〈今後〉

既存施設の定員見直しにより確保対策を行いたいと思います。

## 【地域子ども・子育て支援事業の提供体制】

### ①利用者支援事業

#### 〈事業の概要〉

子ども及びその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等をするとともに、関係機関との連絡調整等を図る事業です。

市全域を対象として地域子育て支援センターに利用者支援専門員を配置します。

#### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：箇所)

実施施設における利用者専門員配置		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	計画当初 計画値なし			1	1
	実績 (B)	1	1	1	1	—
確保方策	計画 (C)	計画当初 計画値なし			1	1
	実績 (D)	1	1	1	1	—
	進捗率	(D) / (C)	—	—	—	100%
	確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	0	0	0	0

#### 〈実施状況〉

専門員1名を設置し、利用者ニーズに対応した情報提供や助言を行っています。  
月平均で30件の相談対応を行っています。

#### 〈今後〉

相談件数が増加しており、今後も更なる増加が見込まれるため、専門員のスキルアップや関係機関との情報共有・連携がより以上に必要となってくると考えています。

## ②地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

### 〈事業の概要〉

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人日／年間）

対象年齢（0～2歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	11,856	11,616	11,388	18,500	19,000
	実績 (B)	16,768	17,574	17,419	12,276	—
確保方策	計画 (C)	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	実績 (D)	24,000	24,000	24,000	24,000	—
進捗率	(D)／(C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	7232	6426	6581	11724	—

### 〈実施状況〉

専門指導員を配置し、センターの運営・イベント・相談対応を行っています。  
1施設で1日平均利用者50名、相談30件の対応を行っています。

### 〈今後〉

相談件数・利用者共に増加しており、今後も更に利用者にとって訪れやすい施設の運営に努めていくことが必要と考えます。

### ③妊婦健康診査

#### 〈事業の概要〉

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、「健康状態の把握」「計測」「保健指導」を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施します。

#### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人、回)

妊婦		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	420	420	420	390	390
	実績 (B)	393	395	374	228	—
確保方策	計画 (C)	420	420	420	420	420
	実績 (D)	420	420	420	420	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	27	25	46	192	—

#### 〈実施状況〉

妊娠期から出産まで妊婦の体調管理や費用負担軽減を図るため、14回の妊婦健診受診票（補助券）を交付しています。

母子健康手帳交付時に、県内医療機関で妊婦健診が公費で受けられるよう受診票を交付し、すべての妊婦が県内統一検査項目の健康診査を受診できるよう医療機関に委託します。

H29年度発行者のうち今年度受診者110人（うち転入者1人）です。

H30年度母子健康手帳発行者158人のうち、妊婦健康診査受診者は118人（うち転入者15人）です。〔10月現在、8月受診分まで〕

#### 〈今後〉

今後も受診票の供給確保、委託により量の見込みを確保できる体制を整備します。

#### ④乳児家庭全戸訪問事業

##### 〈事業の概要〉

生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行います。

##### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人／年)

対象年齢（0歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	290	290	290	290	290
	実績 (B)	268	272	247	102	—
確保方策	計画 (C)	290	290	290	290	290
	実績 (D)	290	290	290	290	—
進捗率	(D)／(C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	22	18	43	188	—

##### 〈実施状況〉

母子保健推進協議会に委託し、各担当地区の母子保健推進員が、2～3ヶ月頃の乳児の家庭を全戸訪問しています。4か月児健診の案内や子育てに関する情報を提供したり、養育環境等の把握に努めています。

10月末現在、147人の乳児家庭への訪問を依頼しており、102人実施の報告を得ています。

##### 〈今後〉

母子保健推進協議会と連携し、取り組んでいきます。

## ⑤養育支援訪問事業

### 〈事業の概要〉

養育支援が必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、その家庭の適切な養育の実施を確保します。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

支援人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	35	40	40	40	40
	実績 (B)	36	49	50	18	—
確保方策	計画 (C)	35	40	40	40	40
	実績 (D)	35	40	40	40	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	-1	-9	-10	22	—

### 〈実施状況〉

保健センターでは市保健師と県助産師会の助産師に委託し、実施しています。若年妊婦等妊娠前から支援が必要な妊婦や育児不安のある産婦や養育支援が必要な家庭へ訪問し、安心して出産、子育てができるように努めています。

若年妊産婦や育児不安のある産婦、養育環境に心配のある家庭、何らかの支援が必要な家庭等を訪問しています。また、出産した医療機関からの情報提供などによる訪問も実施しています。

### 〈今後〉

来年度から子育て総合相談センターを設置を行い、関係機関と連携を図りながら妊娠期から切れ目ない支援を行い、安心して出産・子育てができるよう努めていきたいと思っております。

## ⑥子育て短期支援事業（ショートステイ）

### 〈事業の概要〉

保護者の病気や出張、冠婚葬祭などにより、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合、児童養護施設等で一定期間、養育・保護を行います。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

対象年齢（0歳～18歳）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
	実績 (B)	0人日	0人日	0人日	0人日	—
確保方策	計画 (C)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	実績 (D)	1か所	1か所	1か所	1か所	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—

※ 他市町に受入体制があります。現状を維持することにより、供給体制を継続します。

### 〈実施状況〉

嬉野市の児童養護施設「済昭園」に事業を委託し、受入れを行っています。  
 H29年度実績：ショートステイ 0件  
 トワイライトステイ 9件

※トワイライトステイとは、就労等の理由により休日、夜間に保護者不在となる家庭の児童を保護し、生活指導、食事の提供等を行うことです。

### 〈今後〉

家庭において子どもを育児することが一時的に難しくなり、祖父母や地域内での子育ての助けが十分にできない方が、安心して利用できる体制を確保するとともに、本サービスを積極的に活用してもらえるように広報することが必要と考えます。

## ⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

### 〈事業の概要〉

子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けたいものと援助を行いたいものとの相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人日／年間）

対象年齢（0歳～5歳）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	計画当初 計画値なし			20	30	
	実績 (B)	0	0	10	12	—	
確保方策	計画 (C)	計画当初 計画値なし			20	30	
	実績 (D)	0	0	10	12	—	
	進捗率	(D) / (C)	—	—	—	60%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	0	0	0	0	—

対象年齢（小学校1年生～6年生）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	計画当初 計画値なし			10	10	
	実績 (B)	0	0	0	0	—	
確保方策	計画 (C)	計画当初 計画値なし			10	10	
	実績 (D)	0	0	0	0	—	
	進捗率	(D) / (C)	—	—	—	0%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	0	0	0	0	—

### 〈実施状況〉

H29年度より事業を開始し、子育て支援の一環として依頼会員と援助会員のマッチングの援助を行っています。

### 〈今後〉

事業の展開がまだまだ十分とは言えず、更なる広報、意見の収集などを進め、利用しやすい事業となるよう努めていく必要があります。

## ⑧-1一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）

### 〈事業の概要〉

幼稚園在園児を対象とし、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、一時的に保育ができなくなった保護者に代わって希望者を教育（保育）する事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人日／年間）

		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	24,038	26,772	25,977	7,000	7,000
	実績 (B)	8,111	6,013	5,952	2,538	—
確保方策	計画 (C)	26,772	26,772	26,772	26,772	26,772
	実績 (D)	26,772	26,772	26,772	26,772	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	18,661	20,759	20,820	24,234	—

### 〈実施状況〉

認定こども園1施設と幼稚園1施設で実施しています。  
H29年度の実績は、明朗幼稚園：4,692人、鹿島カトリック幼稚園：1,260人  
保護者の育児負担の軽減や、子育て及び就労の両立の支援を図ることができています。

### 〈今後〉

提供体制が整っているため、今後も継続して事業を実施していきます。

## ⑧-2一時預かり事業（幼稚園の預かり保育以外）

### 〈事業の概要〉

保護者が病気や短期労働、社会文化活動への参加など、一時的に保育ができなくなった場合に保護者に代わって子どもを8時～17時まで保育所等で保育する事業です。日ごろ保育所等を利用していなくても、一時的に児童を預けることができる事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人日／年間）

		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	2,046	2,039	1,987	1,947	1,905
	実績 (B)	1,424	1,516	1,111	677	—
確保方策	計画 (C)	2,046	2,046	2,046	2,046	2,046
	実績 (D)	2,046	2,046	2,046	2,046	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	622	530	935	1,369	—

### 〈実施状況〉

市内保育所の全14施設において当該事業が行われています。  
保護者の共働きの増加や核家族化の進行、ひとり親世帯の増加など多様化する社会的背景も重なり、乳児や未満児等の需要が高まる通常保育に加え、保護者からの一時預かりのニーズに柔軟な体制で対応しています。

### 〈今後〉

現状を維持し、提供体制確保の継続を行います。

## ⑨延長保育事業（時間外保育事業）

### 〈事業の概要〉

保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育認定を受けた子どもを認定こども園や保育所等の通常開所時間11時間を超えて保育を行います。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人／年間)

		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	517	517	503	493	482
	実績 (B)	671	771	589	522	—
確保方策	計画 (C)	643	643	643	643	643
	実績 (D)	643	643	643	643	—
進捗率	(D)／(C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	-28	-128	54	121	—

### 〈実施状況〉

市内保育所全14施設、認定こども園1施設において当該事業が行われています。  
当初の見込みを上回る利用者数がありますが、必要量に対する確保はなされています。  
H27年度からの保育認定制度（保育標準時間と保育短時間）の導入により、適正な時間の保育を受けられるようになりましたが、保護者の共働きや残業でお迎えの時間が遅くなったりと社会的変化の多様化に伴う結果だと思われま。

### 〈今後〉

現状を維持し、提供体制確保の継続を行います。

## ⑩病児・病後児保育事業

### 〈事業の概要〉

急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な子どもを医療機関等の専用施設で一時的に預かり看護及び保育を行います。

### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

(単位：人)

支援人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	1,943	1,943	1,892	1,855	1,815
	実績 (B)	28	45	19	27	—
確保方策	計画 (C)	50	50	50	50	50
	実績 (D)	50	50	50	50	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	22	5	31	23	—

※ 他市町に受入体制（登録制）があります。今後、利便性をさらに向上させるため、市内に専用施設1か所の開設を目指します。

### 〈実施状況〉

嬉野市及び江北町と契約を締結し、今年度から新たに武雄市にある病児受入施設へ委託を開始しました。利用者は年度によって増減はありますが、病児期の受入が速やかに保護者からのニーズも高いため今後も継続して事業実施を行っていきます。

H30年度実績（10月末現在）

鹿島市在住の方が武雄市の病児施設を利用した人数は13人、嬉野市は6人、江北町は8人となっています。

### 〈今後〉

保護者の通勤経路の関係上、利用圏域に限られるため、市内での実施に向けた施設整備を含めた事業費の確保と実施方法の検討が課題となっています。

## ⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

### 〈事業の概要〉

保護者の就労や疾病等の理由で、放課後に家庭でみるできない小学生の保育を行います。

### 鹿島小校区

#### ■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	72	78	75	88	88
	実績 (B)	66	78	69	79	—
確保方策	計画 (C)	79	80	79	88	88
	実績 (D)	71	80	90	90	—
進捗率	(D) / (C)	90%	100%	114%	102%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	5	2	21	11	—

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	9	8	9	10	10
	実績 (B)	5	5	5	13	—
確保方策	計画 (C)	9	8	9	10	10
	実績 (D)	9	8	15	15	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	167%	150%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	4	3	10	2	—

### 〈実施状況〉

H29年度10月より、鹿島小学校建物内専用施設へわんぱくクラブキリン組（定員25名）を移設し、鹿島小学校定員総数105名にて事業を行っております。

### 〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

明倫小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	90	78	84	101	101
	実績 (B)	92	72	92	105	—
確保方策	計画 (C)	110	110	109	110	112
	実績 (D)	99	99	99	99	—
	進捗率	(D) / (C)	90%	90%	91%	90%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	7	27	7	-6

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	11	11	12	9	9
	実績 (B)	4	9	1	0	—
確保方策	計画 (C)	11	11	12	11	9
	実績 (D)	11	11	11	11	—
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%	92%	100%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	7	2	10	11

〈実施状況〉

ほがらかAクラブ（定員35名）、ほがらかBクラブ（定員35名）、げんきクラブ（定員40名）の定員総数110名で確保を行っております。

〈今後〉

利用希望者が計画値の量の見込みを超えてきていますので、確保方策を検討します。

①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

浜小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	27	28	30	38	37	
	実績 (B)	24	35	37	37	—	
確保方策	計画 (C)	20	20	20	52	52	
	実績 (D)	18	52	52	52	—	
	進捗率	(D) / (C)	90%	260%	260%	100%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	-6	17	15	15	—

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	3	3	3	3	3	
	実績 (B)	0	0	0	3	—	
確保方策	計画 (C)	3	3	3	8	8	
	実績 (D)	3	8	8	8	—	
	進捗率	(D) / (C)	100%	267%	267%	100%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	3	8	8	5	—

〈実施状況〉

光の子クラブA（定員21名）と光の子クラブB（定員39名）の定員総数60名で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

古枝小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	37	38	35	33	36
	実績 (B)	40	35	30	52	—
確保方策	計画 (C)	38	38	38	63	63
	実績 (D)	48	48	63	63	—
	進捗率	(D) / (C)	126%	126%	166%	100%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	8	13	33	11

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	4	4	4	6	6
	実績 (B)	3	3	5	7	—
確保方策	計画 (C)	4	4	4	7	7
	実績 (D)	4	4	7	7	—
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%	175%	100%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	1	1	2	0

〈実施状況〉

H30.3月に古枝小学校敷地内に専用施設を新設し、ひまわりAクラブ（定員35名）とひまわりBクラブ（定員35名）の定員総数70名で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

北鹿島小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	39	40	39	34	38
	実績 (B)	33	31	36	38	—
確保方策	計画 (C)	42	42	42	42	42
	実績 (D)	38	38	38	44	—
	進捗率	(D) / (C)	90%	90%	90%	105%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	5	7	2	6

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	4	4	4	4	4
	実績 (B)	2	3	1	7	—
確保方策	計画 (C)	4	4	4	4	4
	実績 (D)	4	4	4	8	—
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	200%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	2	1	3	1

〈実施状況〉

H30年度より1クラブ開設し、かがやきクラブA（定員42名）、かがやきクラブB（定員10名）の定員総数52名で確保を行っております。

〈今後〉

H31年度に北鹿島小学校敷地内に専用施設を建設予定です。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

能古見小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	37	34	30	30	32
	実績 (B)	24	23	24	26	—
確保方策	計画 (C)	38	38	38	38	38
	実績 (D)	34	34	34	34	—
	進捗率	(D) / (C)	89%	89%	89%	89%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	10	11	10	8

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	2	1	2	7	7
	実績 (B)	3	3	3	6	—
確保方策	計画 (C)	4	4	4	4	4
	実績 (D)	5	5	5	5	—
	進捗率	(D) / (C)	125%	125%	125%	125%
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	2	2	2	-1

〈実施状況〉

すぎの子クラブ（定員39名）の1施設で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

能古見小校区（浅浦分校）

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	2	1	2	0	0	
	実績 (B)	3	2	0	0	—	
確保方策	計画 (C)	10	10	10	0	0	
	実績 (D)	10	10	10	0	—	
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	0%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	7	8	10	0	—

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31	
量の見込み	計画 (A)	0	0	0	0	0	
	実績 (B)	0	0	0	0	—	
確保方策	計画 (C)	0	0	0	0	0	
	実績 (D)	0	0	0	0	—	
	進捗率	(D) / (C)	0%	0%	0%	0%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	0	0	0	0	—

〈実施状況〉

たんぽぽクラブ（定員10名）の1施設で確保を行っていましたが、分校が閉校したため、今後の利用はありません。

〈今後〉

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

七浦小校区

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	24	22	25	11	13
	実績 (B)	13	9	8	11	—
確保方策	計画 (C)	39	39	39	39	40
	実績 (D)	36	36	36	36	—
進捗率	(D) / (C)	92%	92%	92%	92%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	23	27	28	25	—

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	3	3	3	2	2
	実績 (B)	0	1	2	2	—
確保方策	計画 (C)	3	3	3	3	2
	実績 (D)	3	3	3	3	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	3	2	1	1	—

〈実施状況〉

ゆめっ子クラブ（定員39名）の1施設で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

七浦小校区（音成分校）

■量の見込みと確保方策

※H30年度は10月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	6	5	8	8	6
	実績 (B)	4	3	4	9	—
確保方策	計画 (C)	15	15	15	15	15
	実績 (D)	15	15	15	15	—
進捗率	(D) / (C)	100%	100%	100%	100%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	11	12	11	6	—

高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	計画 (A)	0	0	0	0	0
	実績 (B)	0	0	0	0	—
確保方策	計画 (C)	0	0	0	0	0
	実績 (D)	0	0	0	0	—
進捗率	(D) / (C)	0%	0%	0%	0%	—
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	0	0	0	0	—

〈実施状況〉

星の子クラブ（定員15名）の1施設で確保を行っております。  
分校のため低学年のみの利用状況です。

〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。